

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年3月30日(2006.3.30)

【公表番号】特表2005-526040(P2005-526040A)

【公表日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-034

【出願番号】特願2003-569190(P2003-569190)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/137	(2006.01)
A 6 1 K	31/14	(2006.01)
A 6 1 K	31/18	(2006.01)
A 6 1 K	31/196	(2006.01)
A 6 1 K	31/215	(2006.01)
A 6 1 K	31/216	(2006.01)
A 6 1 K	31/27	(2006.01)
A 6 1 K	31/352	(2006.01)
A 6 1 K	31/365	(2006.01)
A 6 1 K	31/382	(2006.01)
A 6 1 K	31/4025	(2006.01)
A 6 1 K	31/415	(2006.01)
A 6 1 K	31/42	(2006.01)
A 6 1 K	31/421	(2006.01)
A 6 1 K	31/4375	(2006.01)
A 6 1 K	31/4439	(2006.01)
A 6 1 K	31/444	(2006.01)
A 6 1 K	31/445	(2006.01)
A 6 1 K	31/4525	(2006.01)
A 6 1 K	31/46	(2006.01)
A 6 1 K	31/47	(2006.01)
A 6 1 K	31/50	(2006.01)
A 6 1 K	31/501	(2006.01)
A 6 1 K	31/5415	(2006.01)
A 6 1 K	31/55	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 P	13/02	(2006.01)
A 6 1 P	13/10	(2006.01)
A 6 1 P	25/02	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00
A 6 1 K	31/137
A 6 1 K	31/14
A 6 1 K	31/18
A 6 1 K	31/196
A 6 1 K	31/215
A 6 1 K	31/216
A 6 1 K	31/27
A 6 1 K	31/352

A 6 1 K 31/365  
A 6 1 K 31/382  
A 6 1 K 31/4025  
A 6 1 K 31/415  
A 6 1 K 31/42  
A 6 1 K 31/421  
A 6 1 K 31/4375  
A 6 1 K 31/4439  
A 6 1 K 31/444  
A 6 1 K 31/445  
A 6 1 K 31/4525  
A 6 1 K 31/46  
A 6 1 K 31/47  
A 6 1 K 31/50  
A 6 1 K 31/501  
A 6 1 K 31/5415  
A 6 1 K 31/55  
A 6 1 K 45/06  
A 6 1 P 13/02  
A 6 1 P 13/02 1 0 5  
A 6 1 P 13/10  
A 6 1 P 25/02  
A 6 1 P 43/00 1 1 1  
A 6 1 P 43/00 1 2 3

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ある量の抗ムスカリン剤、  
ある量のシクロオキシゲナーゼ阻害剤又はそのプロドラッグ、及び  
ある量の医薬的に受け入れられる担体  
から成る医薬組成物。

【請求項2】

シクロオキシゲナーゼ阻害剤が非ステロイド性抗炎症薬である請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

シクロオキシゲナーゼ阻害剤がシクロオキシゲナーゼ - 2 選択的阻害剤である請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

シクロオキシゲナーゼ - 2 選択的阻害剤がメロキシカム、RS-57067、ABT-963、COX-189、NS-398、セレコキシブ、バルデコキシブ、デラコキシブ、ロフェコキシブ、エトリコキシブ(MK-663)、及びJTE-522、又はそれらの医薬的に受け入れられる塩若しくはプロドラッグから成る群より選ばれる請求項3に記載の組成物。

【請求項5】

シクロオキシゲナーゼ - 2 選択的阻害剤がセレコキシブである請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

パレコキシブがシクロオキシゲナーゼ - 2 選択的阻害剤バルデコキシブのプロドラッグとして使用される請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 7】

シクロオキシゲナーゼ - 2 選択的阻害剤が置換されたベンゾピラン又はその医薬的に受け入れられる塩若しくはプロドラッグである請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 8】

抗ムスカリン剤が塩化アルバメリン、塩化ベタネコール、塩化ダリフェナシン、塩酸ジシクロミン、エメプロニウム カラゲナート、硫酸ヒヨスチアミン、塩酸イミプラミン、塩化オキシブチニン、塩化 S - オキシブチニン、臭化プロパンテリン、塩化プロピペリン、塩化レバトロパート、塩化テミペリン、塩化テロジリン、酒石酸トルテリジン、塩化トロスピウム、塩化バミカミド、塩化ザミフェナシン、AH-9700, FK-584, J-104135, KRP-197, YM-905, 及び YM-46303 から成る群より選ばれる請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 9】

抗ムスカリン剤が塩化オキシブチニン、塩化 S - オキシブチニン、臭化プロパンテリン、塩化プロピペリン、酒石酸トルテロジン、及び塩化トロスピウムから成る群より選ばれる請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

抗ムスカリン剤が酒石酸トルテロジンである請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 11】

尿失禁症状の治療又は予防のための請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 12】

尿失禁症状が切迫性尿失禁、腹圧性尿失禁、混合性失禁、過活動膀胱、神経性失禁、排尿筋反射亢進症、尿道下憩室炎、及び尿路感染症から成る群より選ばれる請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

症状が過活動膀胱、神経性失禁、及び排尿筋反射亢進症から成る群より選ばれる請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 14】

症状が過活動膀胱である請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 15】

間質性膀胱炎の治療又は予防のための請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 16】

投薬処方物中のある量の抗ムスカリン剤、及び別の投薬処方物中のある量のシクロオキシゲナーゼ阻害剤又はそのプロドラッグから成るキット。

【請求項 17】

シクロオキシゲナーゼ阻害剤が非ステロイド性抗炎症薬である請求項 16 に記載のキット。

【請求項 18】

尿失禁症状の治療又は予防の必要のある患者に、シクロオキシゲナーゼ阻害剤又はその医薬的に受け入れられる塩若しくはプロドラッグの治療又は予防上有効な量を投与することから成る、尿失禁症状の治療又は予防方法。